

No.39

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員



〒630 奈良市二条大路南1-11
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

奈良市議会だより



暑中、プールで気持ちよく泳ぐ園児たち (六条幼稚園で)

初日に市長は招集あいさつの中で、本年は中国西安市と友好都市提携を表現して二十年になる。去る五月十八日、十九日の両日、奈良県新公会堂において、日中間で友好都市提携をしている百五十二の

自治体が一堂に会し、日中友好都市誕生二十周年を記念した日中友好都市交流奈良会議が開催された。日中両国で初めてこの会議を奈良の地で開催できたことは大変名誉なことであり、さらに、両国民

の子々孫々にわたる友好を促進する宣言が採択され、成功裏に終えた。
また、去る五月二十日から三日間、東大寺大仏殿前庭において「GMEA AON IY OSHI」コンサートが開催された。この催しは国連教育科学文化機関(ユネスコ)が

「世界文化発展の十年計画」と「世界遺産条約」を世界にアピールするためのイベントである。第一回開催地として国内外のトップ・アーティストを迎えて開催することができ、大変意義深く感じている。この事業が、国際平和と世界文化の発展に貢献することを願う

就任のあいさつ

議長 扇田善次
副議長 荻田義雄

議長に扇田氏、副議長に荻田氏 常任委員会の委員なども改選

平成六年六月定例会は、六月十五日に開会し、二十四日までの十日間の会期で開きました。この定例会では、市長提出の報告十三件、議案十三件、諮問一件の審議と議長、副議長、常任委員会の委員の改選などを行いました。本定例会の会期は、当初六月二十七日までの十三日間となっておりますが、二十四日に予定の案件がすべて議了しましたので、会期を三日間繰り上げ同日閉会しました。

6月定例会

ていると述べられました。
今定例会では、市長専決処分
分の報告など十三件の報告、奈良市税条例の一部改正など十三件の議案と諮問一件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、六月定例会で例年行われている役員改選は、議長に扇田善次議員を、副議長に荻田義雄議員をいずれも満場一致で選出したほか、各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の委員の改選、政治倫理条例検討特別委員会の委員の一部交代など行いました。

市長提出の人事案件では、議員のうちから選任する監査委員に岡本志郎議員、中村重信議員を選任することに同意したほか、人権擁護委員の候補者に大西利明氏、谷口光明氏、中谷富士夫氏、西口浩氏、藤本真典氏を推薦することに同意しました。

請願

平成四年十二月定例会で企画建設委員会に付託し、審査を行ってきた「杉ヶ中町(済美校区)パチンコ店の建設反対に関する請願書」は、五月十七日付で請願者から取り下げ願いが提出され、本定例会で取り下げを承認しました。

陳情

今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
▽在日韓国人・朝鮮人の公権力への参画等に関する陳情書
陳情者 神戸市兵庫区上三

条町六番一 号 菊水社
代表 中村公一氏

▽朱雀・左京地区における新用途地域への見直し計画に関する陳情書
陳情者 朱雀自治連合会
会長 滝村幸男氏外三名

▽議会棟の施設改善を求める陳情書
陳情者 奈良市鳥見町四丁目一八一四〇五 池田長政氏

五月二十六日、東京で開かれた第七十回全国市議会議長会定期総会で、次の四人の方が十五年以上市議会議員の職にある者として表彰を受けました。

松石 聖一 中西 義次
西岡 孝孝 樹杉 和彦

四議員に表彰状 全国市議会議長会

五月二十六日、東京で開かれた第七十回全国市議会議長会定期総会で、次の四人の方が十五年以上市議会議員の職にある者として表彰を受けました。

市税条例の一部改正

- 前年中所得のない者に係る個人市民税非課税措置廃止
- 長期譲渡所得の個人市民税課税の特例の適用

新築工事、高雄中学校 校舎改修工事、済美幼稚園園舎改築工事 五条町(四条大路五丁目)地内市公共下水道平松幹線文線築造工事

対象範囲の拡大等 固定資産税不均一課税の規定整理

仮称市防災センター展示体験施設設置工事 田原小学校屋内運動場

近鉄西大寺駅南土地区画整理事業調整池設置工事 市営声(おんじょう)館条例の制定 音声館の設置、管理及び使用料に関する条例措置

市営声(おんじょう)館

議会日誌

☆四月	7日	議会だより編集委員会
☆五月	1日	議会だより第38号発行
	17日	教育厚生委員会
	20日	政治倫理条例検討特別委員会、佐賀市を視察
	21日	経済水道委員会
	23日	企画建設委員会
	30日	総務財政委員会
☆六月	3日	都市基盤整備特別委員会
	8日	内示会
	"	幹事長会
	"	議会運営委員会
	14日	政治倫理条例検討特別委員会
	15日	本会議(六月定例会開会)
	20日	本会議
	21日	本会議
	22日	本会議
	23日	本会議
	24日	本会議(六月定例会閉会)

その他の月議会で決まったこと

対象範囲の拡大等
固定資産税不均一課税の規定整理
▽工事請負契約の締結
・仮称市防災センター展示体験施設設置工事
・田原小学校屋内運動場

この用紙は再生紙を使用しています。

質問と

都市整備

一条通りの混雑解消図れ

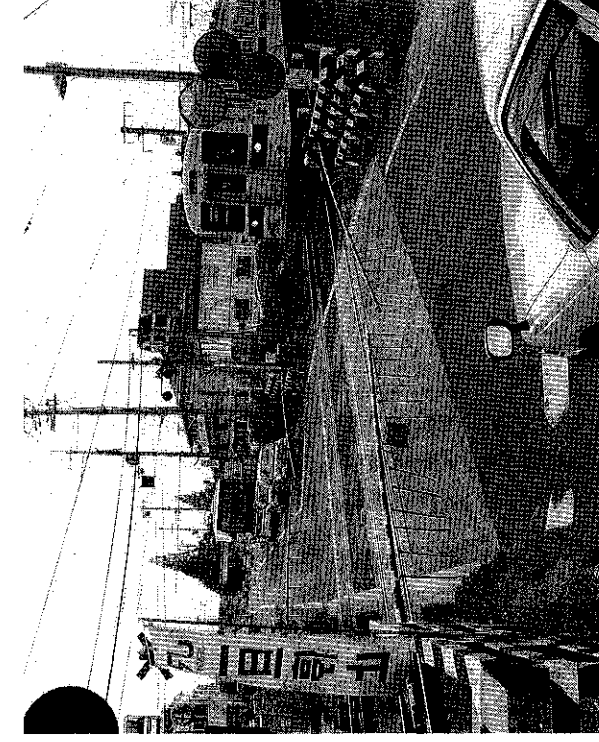
JR駅、近鉄駅一体化は長期的課題

問 JR線と近鉄線立体事業は、一条通りの混雑解消や、京終駅周辺の活性化のため、工事区間を延長すべきではないか。

また、この事業とJR奈良駅、リニアの新駅、近鉄奈良駅等との一体性をどのように作り出していくのか。

答 現在計画している工事区間は、関西線は佐保川堤防付近から大安寺踏切付近まで、桜井線は春日中学校付近までであり、この区間が国の事業採択条件を満たしている。一条通りを越えての延伸は、国の補助は受けられず、財政上の問題等あり困難である。京終駅までの延伸は、道路整備計画や駅周辺の面的整備の具現化に時間を要するので将来の研究課題とした。

JR及び近鉄の奈良駅やリニアの駅の一体的な整備につ



J R R 線 西 関 線 踏 切 通 路 一 一

いては、長期的な課題ということで受け止めている。

問 地下方式による事業化

問 生涯学習推進基本計画を進める上で、幼児教育をどのように位置づけているのか。懸念の幼稚園教員採用計画は。また、公立と私立との格差が言われている中、公・私立幼稚園がお互いに現状を認識し合う場が必要ではないか。

答 生涯学習の基礎・基本を培う場として、各園が保護

には三倍の経費が必要ということから高架案になっている。用地買収や将来の一条通りの適切な混雑解消などを考慮すれば費用の差は単純には比較できない。地下案を再調査すべきではないか。

答 地下案は、過去に調査している。現に近鉄奈良線が

教育

魅力ある幼稚園に各園の創意工夫生かす

問 生涯学習推進基本計画を進める上で、幼児教育をどのように位置づけているのか。懸念の幼稚園教員採用計画は。また、公立と私立との格差が言われている中、公・私立幼稚園がお互いに現状を認識し合う場が必要ではないか。

答 生涯学習の基礎・基本を培う場として、各園が保護

者や地域の人々のニーズにこたえるための特色ある園づくりが大切である。各園では、園に活力を与えるため保護者や地域の人たちの保育参加などの取り組みをしているが、本年度からスタートの学校園活性化対策推進事業の趣旨を踏まえ、各園の創意・工夫を生かした地域の幼児教育セン

ター的な機能をもった魅力ある幼稚園づくりに努めたい。

教員の今年度の採用は、近く募集要項を発表する。今後には、園児数の動向等を見極めながら進めたい。

私立幼稚園との関係は、お互いに協調し、幼児教育の成果を上げるべく去る月に公・私立幼稚園園長の懇話会を開催した。七月には、教員の合同研修会も予定しており、公・私立教職員の交流と資質の向上を図ることにしている。

西部生涯スポーツセンター

問 砂茶屋の浄化センター

地下乗り入れしており工法的にも非常に難しく、かなりの費用がかさんでくることから

地権者から同意得る 県のへりポート計画

問 県設置のへりポートの進捗状況と計画概要は。また市の取り組みは。

答 関西国際空港の開港、また近畿圏の各主要都市の将来をにらんだ上での高速アクセス手段の確保、緊急用や防災等の活動拠点としてへりポートはぜひとも必要であることから、県が主体に市も一体となって用地交渉等を行っている。

現在、矢田原町の茶畑を中心とする地域を候補地として昨年度から県とともに地権者地元住民等への説明会を開催し、地権者から土地測量の同意を得た。今後、計画の実施に向け、測量調査等を実施していく予定である。

跡地に温水プール棟、体育館が建設される。実施計画の中で審議会の答申内容、あるいは生涯スポーツセンターといった趣旨をどのように反映するのか。

答 西部生涯スポーツセンターの建設には、市スポーツ振興審議会の答申を参考に、多様な市民ニーズにこたえられるよう各種のスポーツが同時に実施できるものにした。目的に応じた体力づくり、トレーニング等ができ、利用者に適した健康の維持、増進を図れるとともに障害者の利用にも対応ができる施設で、また、スポーツ情報やコミュニ

も地下案では、困難と決定した。今後、高架化について建設者と協議したい。

住宅

建てかえ促進 高齢者住宅も計画

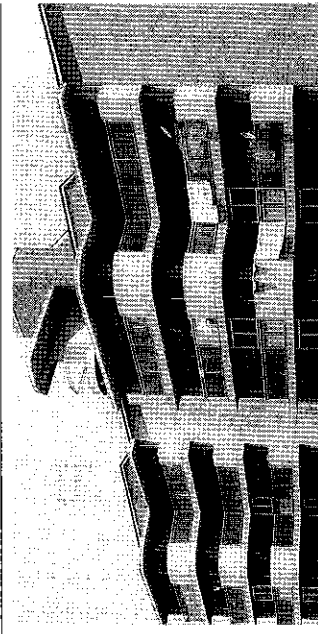
問 昨年の公営住宅公募の平均倍率は、市営で九・五倍、県営で四・七倍で住宅不足を

ケイションの場としての機能も持つ施設となるように考えている。本年度は実施設計を

問 最近、子供たちにも小児成人病が増えてきて問題になっている。学校の健康診断の中で、予防の認識、予防検査の考え方と取り組みは。

答 動脈硬化、高脂血症、高血圧、胃か

増加の小児成人病 予防検診は



高齢者・障害者向け住宅のある市営住宅（大安寺一丁目）

痛感させられる。市営住宅の建てかえと同時に新規建設に力を入れるべきだ。また特定目的住宅も増やすべきだ。

答 市営住宅の建設は、平成元年度から十一年計画で一定の増を図りながら建てかえ計画を実施し、その進捗率は三七・六％となっている。新規住宅建設は建てかえ事業が一定の見通しがあった時点で住宅需要等を動かし検討した

いよう等、これまで成人の課題とされていた成人病が発達段階の小・中学生の時期から始まっていることは学校保健の重要な問題である。本市においても、小児成人病との相関があると考えられる肥満傾向の児童生徒が、わずかではあるが増加の傾向にある。市は他に先駆け、腎臓病精密検査や心臓病集団検診を実施してきた。また昨年度は医師会

い。現在決して充足しているとは言えないが、建てかえ事業に専念している。

特定目的住宅については、二名住宅、大安寺住宅に高齢者向け十戸、障害者向け二戸を建設した。また建設中の般若寺住宅に高齢者向け二戸、障害者向け二戸、母子家庭向け二戸を計画している。今後

の協力のもと二中学校、二小中学校で小児成人病の実態調査を行い、本年度も各校の協力を求め、より詳しい調査を実施し、今後の対応策を医師会と連携しながら検討したい。

女性行動計画

来年度に発足予定 施策推進懇話会

問 奈良市でも今年女性行動計画が策定された。施策を推進させるための推進懇話会の構成には、女性を中心に幅広く人材を求めざるべきだ。

答 女性施策推進懇話会は、七年度に発足の予定である。メンバーは、学識経験者、女性団体代表、市民代表等幅広いものとした。

待機児童 解消必要

問 女性の就労条件の整備に、常時五百人前後いる保育所の待機児童の解消が必要である。三月議会で答弁のあった西部の夜間保育所の経過と待機児童の解消計画、さらには病児保育について聞きたい。

答 待機児童の解消は、新総合計画の実施計画に基づきこれまでに百二十名の増員を図ってきたが、まだ完全解消には至っていない。現在の基本計画の見直し時期がきているので、この点を十分踏まえ慎重に対処していきたい。

西部の夜間保育所については、現在話を詰めているところである。

また、病児保育については、今後の課題と受けとめ、研究していきたい。

